



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1489 2026年3月16日

ARIBの動き

### XGモバイル推進フォーラム 2025年度定時総会を開催

「XGモバイル推進フォーラム」（略称：XGMF）は、3月13日（金）、明治記念館において2025年度の定時総会を開催し、会場には153名、オンラインでは68名の参加をいただきました。

総会はARIB西岡理事（XGMF事務局長）の司会のもと進行され、冒頭、共同代表である東京大学教授 森川博之氏より、「通信を単なるコストとして捉えるのではなく、将来への成長投資と考えることが重要である。XGMFにおいて通信価値の再定義を行い、次世代へとつなげていってほしい。」との挨拶がありました。

続いて、来賓として総務省総合通信基盤局電波部長の翁長久氏より「情報通信基盤は社会にとって不可欠な存在である。業界全体を盛り上げるとともに、人材育成を進め、若い世代が活躍できる場としていってほしい。」とのご挨拶をいただきました。あわせて、「電波政策の最新動向について」と題したご講演も行われました。



総会の模様



ARIB 西岡氏



東京大学 森川氏

その後、議案審議に移り、共同代表の東京大学教授 森川博之氏が議長に選任されました。

第1号議案「2025年度の活動報告と決算（決算は2025年12月までの暫定）」、第2号議案「2026年度の活動計画と収支計画」、及び第3号議案「2026年度役員選任（森川・中尾両共同代表の再任および会計監査（ソフトバンク 佐野弘和氏）の選任）」について説明が行われました。これらすべての議案について、会場およびオンライン参加の会員から異論はなく、原案どおり承認されました。



総務省 翁長氏



東京大学 中尾氏

議案審議終了後は、XGMFの7つのプロジェクトより、これまでの活動内容および成果について発表が行われました。

最後に共同代表である東京大学教授の中尾彰宏氏より閉会挨拶があり、先日バルセロナで開催されたMWC2026における気付きを中心とした報告がなされ、総会は盛況のうちに終了しました。

総会終了後には意見交換会が開催され、来賓として総務省総合通信基盤局長の湯本博信氏よりご挨拶をいただきました。意見交換会には157名が参加し、活発な交流が行われ、会員相互の親睦を深める貴重な機会となりました。



総務省 湯本氏

## 第 337 回 業務委員会を開催

第337回業務委員会を開催しました。

- 1 日 時 : 2026年3月11日(水) 15時30分～16時30分
- 2 場所・形態 : 当会第2、3会議室 (Web会議併用)
- 3 議 題 :
  - (1) 第126 回規格会議の開催について
  - (2) ITU-R WP 5D 第51回会合の概要について
  - (3) FFPA、5G-ACIA、XGMF ジョイントワークショップ開催報告について
  - (4) 各社からのトピックス
  - (5) その他

## ARIB 内会合（3月16日～3月20日）予定

3月17日（火）：第221回 ARIB 電波利用セミナー  
オンラインセミナー  
「Building Intelligent and Resilient 6G Systems - Regional aspects from EU & US」

## 国際会合（3月16日～3月20日）予定

参加を予定している会合はありません。

### 総務省などからのお知らせ

## 安全かつ効率的なレベル4自動運転に資する通信システム等の 検証に関する実証団体の公募

【令和8年3月6日発表】

人口減少・少子高齢化や経済構造変化等が進行する中、持続可能な地域社会を形成し、強い地方経済を実現するためには、デジタル技術の実装（地域社会DX）を通じた省力化・地域活性化等による地域社会課題の解決が重要です。

このため、総務省ではデジタル人材/体制の確保支援、AI・自動運転等の先進的ソリューションや先進的通信システムの実証、地域の通信インフラ整備の補助等の総合的な施策を通じて、デジタル実装の好事例を創出し、全国における早期実用化を目指す「地域社会DX推進パッケージ事業」を実施します。

本事業の一環として、安全かつ効率的なレベル4自動運転のために必要な通信システムの信頼性確保等について検証するための実証団体を、3月6日（金）14時から3月27日（金）17時までの間、公募しています。

詳細については [【令和8年3月6日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

## 26GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための 価額競争の参加申請の受付開始

【令和8年3月9日発表】

総務省は、26GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針案について、令和8年2月3日（火）に、電波監理審議会（会長：笹瀬巖 慶應義塾大学名誉教授）へ諮問し、原案を適当とする旨の答申を受けました。

ついでには、以下のとおり当該指針を制定するとともに、電波法（昭和25年法律第131号）第27条の20の3第1項の規定に基づき、26GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針に基づく価額競争の参加申請を3月10日（火）8時30分から4月9日（木）17時15分までの間、受け付けています。

- (1) 26GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針
- (2) 総務大臣が別に告示する特定高周波数無線局の開設の認定の有効期間
- (3) 26GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針に基づく価額競争の参加の申請期間等

詳細については [【令和8年3月9日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

### **無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準等の一部を 改正する省令案等に関する意見募集**

**【令和8年3月9日発表】**

総務省は、令和7年4月25日に公布された電波法及び放送法の一部を改正する法律（令和7年法律第27号）により、6GHzを超える高い周波数帯を対象に、新たな割当方式となる価額競争に関する制度が導入されたことを踏まえ、無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準等の一部を改正する省令案等の関連する制度整備案を作成し、3月10日（火）から4月8日（水）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年3月9日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

### **特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等を 定める告示案に係る意見募集**

**【令和8年3月10日発表】**

総務省では、メーカーや大学の研究機関等による迅速な技術開発等に資するものとして、早期に実験試験局を開設できる周波数等をあらかじめ公示することにより、短時間で免許処理を行うことを可能とする特定実験試験局制度を平成16年に導入し、以降、毎年7月1日から使用可能な周波数、使用可能な地域及び期間等を公示しています。

今般、令和8年7月1日（水）から使用可能な特定実験試験局の周波数の範囲等について告示案を作成し、3月11日（水）から4月9日（木）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年3月10日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

### **「有効利用評価方針」の改定案に対する意見募集**

**【令和8年3月11日発表】**

電波監理審議会は、電波法第26条の3の規定に基づく電波の有効利用の程度の評価（以下「有効利用評価」という。）を行うに当たり、あらかじめ有効利用評価の基準及びその方法その他有効利用評価の実施に必要な事項に関する方針（以下「有効利用評価方針」という。）を定め公表することとされています。

今般、「令和7年度携帯電話及び全国BWA等に係る電波の有効利用の程度の評価結果」において示す「今後の検討課題」を踏まえ、次年度以降の評価実施に向けた有効利用評価方針の改定案を作成し、3月12日（木）から同年4月10日（金）までの間、意見の募集を行っています。

詳細については [【令和8年3月11日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案等に対する意見募集**  
**【令和8年3月12日発表】**

総務省は、電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第46号）の施行に伴う関連規定の整備のため、電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案及び電気通信事業法施行規則及び電気通信事業報告規則の一部を改正する省令案を作成しました。

つきましては、これらの案について、3月13日（金）から4月13日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和8年3月12日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)